

13-6 剰余価値の生産が資本主義的生産の直接目的でもあれば規定的動機でもある

「けっして忘れてならないのは、この剰余価値の生産——そして剰余価値の一部分の資本への再転化すなわち蓄積はこの剰余価値生産の不可欠な一部分をなしている——が資本主義的生産の直接目的でもあれば規定的動機でもあるということである。それだから、この資本主義的生産を、そうではないものとして、すなわち享樂を直接目的とする生産とか資本家のための享樂手段の生産とかいうものとして描いてはならないのである。そんなことをすれば、それは、資本主義的生産の内的な核心的な全姿態のなかに現れるその独自の性格をまったく無視することになるのである。」 (大月版『資本論』④ P306F7-12)

※HP〈近代の国家〉の8-14の再掲。